

全数把握疾患報告数一覧(2000～2020年)

類型	疾患名	2020年
1類	(1) エボラ出血熱	0
	(2) クリミア・コンゴ出血熱	0
	(3) 痘そう(注1)	0
	(4) 南米出血熱(注3)	0
	(5) ベスト	0
	(6) マールブルグ病	0
	(7) ラッサ熱	0
2類	(8) 急性灰白髄炎	0
	(9) 結核(注3)	136
	(10) ジフテリア	0
	(11) 重症急性呼吸器症候群(SARS)(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)(注1)	0
	(12) 中東呼吸器症候群(MERS)(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)(注11)	0
	(13) 鳥インフルエンザ(H5N1)(注5)	0
	(14) 鳥インフルエンザ(H7N9)(注11)	0
3類	(13) コレラ	0
	(14) 細菌性赤痢	0
	(15) 腸管出血性大腸菌感染症	24
	(16) 腸チフス	0
	(17) パラチフス	1
	(20) E型肝炎(注1)	6
	(21) ウエストナイル熱(注1)	0
4類	(22) A型肝炎(注1)	1
	(23) エキノコックス症	0
	(24) 黄熱	0
	(25) オウム病	0
	(26) オムスク出血熱(注3)	0
	(27) 回帰熱	0
	(28) キヤサヌル森林病(注3)	0
	(29) Q熱	0
	(30) 狂犬病	0
	(31) コクシジオイデス症	0
	(32) サル痘(注1)	0
	(33) ジカウイルス感染症(注12)	0
	(34) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)(注7)	3
	(35) 腎症候性出血熱	0
	(36) 西部ウマ脳炎(注3)	0
	(37) ダニ媒介脳炎(注3)	0
	(38) 炭疽	0
	(39) チクングニア熱(注6)	0
	(40) つつが虫病	9
	(41) テング熱	1
	(42) 東部ウマ脳炎(注3)	0
	(43) 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く。)(注1)	0
	(44) ニバウイルス感染症(注1)	0
	(45) 日本紅斑熱	4
	(46) 日本脳炎	0
	(47) ハンタウイルス肺症候群	0
	(48) Bウイルス病	0
	(49) 鼻疽(注3)	0
	(50) ブルセラ症	0
	(51) ベネズエラウマ脳炎(注3)	0
	(52) ヘンドラウイルス感染症(注3)	0
	(53) 発しんチフス	0
	(54) ボツリヌス症(注2)	0
	(55) マラリア	0
	(56) 野兔病(注1)	0
	(57) ライム病	0
	(58) リッサウイルス感染症(注1)	0
	(59) リフトバレー熱(注3)	0
	(60) 類鼻疽(注3)	0
	(61) レジオネラ症	17
	(62) レプトスピラ症(注1)	0
	(63) ロッキー山紅斑熱(注3)	0
	5類	(64) アメーバ赤痢
(65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)(注2)		2
(66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(注10)		14
(67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)(注14)		0
(68) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)(注2)		7
(69) クリプトスポリジウム症		0
(70) クロイツフェルト・ヤコブ病		3
(71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8
(72) 後天性免疫不全症候群		9
(73) ジアルジア症		0
(74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症(注8)		2
(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症(注8)		0
(76) 侵襲性肺炎球菌感染症(注8)		19
(77) 水痘(入院例に限る。)(注10)		0
(78) 先天性風しん症候群		0
(79) 梅毒		71
(80) 播種性クリプトコックス症(注10)		0
(81) 破傷風	1	
(82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症(注1)	0	
(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症	6	
(84) 百日咳(注13)	40	
(85) 風しん(注4)	0	
(86) 麻しん(注4)	0	
(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症(注10)	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎(注9)	—
指定	(88) 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)(注15))	2,464
	新型コロナウイルス感染症(注5)	...
	再興型インフルエンザ(注5)	...

- (注1) 2003年11月5日から、新たに追加されました。(感染症法の一部改正)
- (注2) 感染症法の一部改正(2003年11月5日施行)により、変更となりました。
(法改正前:ポツリヌス症は「乳児ポツリヌス症」、ウイルス性肝炎は「急性ウイルス性肝炎(全てのウイルスの型を含む)」、急性脳炎は「定点把握対象疾患」として報告)
- (注3) 2007年4月1日から、新たに追加されました。(感染症法の一部改正)
- (注4) 感染症法施行規則の一部改正(2008年1月1日施行)により、定点把握疾患から全数把握疾患に変更となりました。
- (注5) 2008年5月12日から、新たに追加されました。(感染症法等の一部改正)
- (注6) 2011年2月1日から、新たに追加されました。(感染症法施行令等の一部改正)
- (注7) 2013年3月4日から、新たに追加されました。(感染症法施行令の一部改正)
- (注8) 2013年4月1日から、新たに追加されました。(感染症法施行規則の一部改正)
- (注9) 感染症法施行規則の一部改正(2013年4月1日施行)により、削除されました。
- (注10) 2014年9月19日から、新たに追加されました。(感染症法施行規則等の一部改正)
- (注11) 2015年1月21日から、新たに追加されました。(感染症法等の一部改正)
- (注12) 2016年2月15日から、新たに追加されました。(感染症法施行令の一部改正)
- (注13) 感染症法施行規則の一部改正(2018年1月1日施行)により、定点把握疾患から全数把握疾患に変更となりました。
- (注14) 2018年5月1日から、新たに追加されました。(感染症法施行規則等の一部改正)
- (注15) 2020年2月1日から、新たに指定されました。